

| |
|-------------------------|
| 第1編 計画の策定 |
| 第1節 計画の趣旨 |
| 第2節 基本理念 |
| 第3節 計画の位置付け |
| 第4節 計画期間及び計画変更 |
| 第5節 関係機関等の役割分担 |
| 第6節 関係機関等の連携体制 |
| 第7節 計画の実績評価 |
| 第2編 地域の現状 |
| 第1節 県の姿 |
| 第2節 人口統計 |
| 第3節 県民の受療状況 |
| 第4節 医療施設の状態 |
| 第5節 医療従事者の状況 |
| 第3編 医療圏の設定と基準病床数 |
| 第1節 医療圏の設定 |
| 1 医療圏の区分 |
| 2 二次医療圏の設定 |
| 3 5疾病・6事業及び在宅医療に係る圏域の設定 |
| 4 県境の医療提供体制に係る医療圏の設定 |
| 第2節 基準病床数 |
| 1 基準病床数 |
| 2 基準病床数制度に関する特例 |
| 第4編 宮城県地域医療構想 |
| 第1節 地域医療構想の趣旨 |
| 第2節 構想区域の設定 |
| 第3節 必要病床数 |
| 第4節 病床機能報告 |
| 第5節 地域医療構想の実現プロセス |
| 第5編 医療提供体制 |
| 第1章 医療機関間・医療介護の分担・連携 |
| 第1節 医療機能の分担・連携と集約化の促進 |
| 第2節 医療・介護の連携 |
| 第2章 主要な疾病・事業ごとの医療提供体制 |
| 第1節 がん |
| 第2節 脳卒中 |
| 第3節 心筋梗塞等の心血管疾患 |
| 第4節 糖尿病 |
| 第5節 精神疾患 |
| 第6節 救急医療 |
| 第7節 災害医療 |
| 第8節 感染症対策 |
| 第9節 へき地医療 |
| 第10節 周産期医療 |
| 第11節 小児医療 |
| 第12節 在宅医療 |
| 第13節 歯科医療 |
| 第14節 難病対策 |

| |
|---------------------------------------|
| 第6編 二次医療圏・構想区域ごとの課題と取組の方向性 |
| 第1節 仙南医療圏(仙南構想区域) |
| 第2節 仙台医療圏(仙台構想区域) |
| 第3節 大崎・栗原医療圏(大崎・栗原構想区域) |
| 第4節 石巻・登米・気仙沼医療圏(石巻・登米・気仙沼構想区域) |
| 第7編 医療従事者の確保対策 |
| 第1章 医師の確保対策(第2期宮城県医師確保計画) |
| 第1節 計画の策定 |
| 第2節 宮城県の状況 |
| 第3節 医師偏在指標及び医師少数区域・医師多数区域等の設定 |
| 第4節 医師確保の方針 |
| 第5節 目標医師数 |
| 第6節 目標医師数を達成するための施策 |
| 第7節 産科・小児科における計画 |
| 第8節 計画の効果測定・評価 |
| 第2章 医師以外の医療従事者の確保対策 |
| 第8編 保健医療サービスの充実・強化 |
| 第1節 医療安全対策 |
| 第2節 健康危機管理対策 |
| 第3節 医薬品提供体制 |
| 第4節 血液確保及び臓器移植等対策 |
| 第9編 外来医療機能の偏在解消(第2期外来医療計画) |
| 第1章 計画の策定 |
| 第2章 外来医療機能の不足・偏在への対応 |
| 第3章 医療機器の効率的な活用に係る計画 |
| 第4章 外来医療計画の実行に関するPDCAサイクル |
| 参考資料集1 県内の外来医療に係るデータ集 |
| 参考資料集2 医療機器マッピング情報 |
| 第10編 医療費適正化の推進(第4期宮城県医療費適正化計画) |
| 第1章 医療費の動向を踏まえた医療等の現状と課題 |
| 第1節 医療費の動向 |
| 第2節 生活習慣病及びメタボリックシンドロームの状況 |
| 第3節 現状と課題の総括 |
| 第2章 取組と目標 |
| 第1節 目指すべき取組と目標 |
| 第2節 計画期間における医療費の見込み |
| 資料編 |

1. 策定趣旨

医療法に基づき、6年ごとに本県における医療提供体制について調査、分析及び評価を行い、地域医療を取り巻く環境変化や本県の現状と課題を踏まえた、新たな医療提供体制を構築するために、第8次計画を策定するもの。

2. 第8次計画期間

令和6年度から令和11年度まで(6年間)